

編集後記

■編集委員 (50 音順)

出 月 康 夫
白 日 高 歩

北 島 政 樹
堤 治

北 野 正 剛
万 代 恭 嗣

小 西 文 雄
東 原 英 二

札幌での学会集も盛会のうちに終わり、内視鏡外科がわが国に根づき、着実に発展しつつあることを改めて実感している。最近では外科系の多くの学会の学会集でも、内視鏡下手術に関連したテーマが大きく取り上げられ、外科系領域での医療に内視鏡下手術が不可欠のものとなりつつあるが、このような普及に伴って、学会としても早急に取り組まなければならない重要課題も山積している。

内視鏡下手術への社会保険の適用は国民皆保険制度を実施しているわが国では不可欠である。来年4月に行われる予定の診療報酬の改定に向けて、外科系社会保険診療委員会連合（外保連）が10月にまとめた外科系各学会からの重点要望項目は205項目にのぼるが、そのなかの約10%が内視鏡外科手術に関連したものであることも、この事情を如実に物語っている。昨今のわが国の厳しい財政状況では、来年4月に医療費の改定が行われるかどうか不透明であり、改定が行われるとしてもマイナス改定となるとの情報が流れている現況では、新しい領域である内視鏡下手術にどこまで社会保険が適用されるかは、まったく未知数である。現在の医療制度の仕組みでは、手術や処置などについての保険適用の要望は医師側（専門学会や医師会）から出されることになっている。しかし、実際にその恩恵を受けるのは患者であることを、厚生労働省も国民もしっかりと認識して、患者にとって必要な新しい手術は早急に保険に適用して欲しいものである。

札幌の学会のおりに開かれた理事会で、内視鏡下手術の技術認定制度委員会を設置することが決められたが、これは本学会として画期的なことである。以前から、特に若手の会員のなかから内視鏡外科の専門医制度を作ってはどうかという声があったが、一般・消化器外科だけではなく、胸部外科、小児外科、内分泌外科、産婦人科、泌尿器科、整形外科、形成外科など、多くの専門領域の医師が参加している本学会では、内視鏡下手術についてそれぞれの専門領域での技術認定のほうが好きという観点から、専門医制度ではなく、技術認定を考えることになったものである。腹腔鏡下胆嚢摘出術がわが国に導入された当初、一部ではあったが、予期せざる胆道損傷や出血などの偶発事故が発生し問題となったことを記憶されている方もあると思うが、新しい技術であり、手術の習熟についての learning curve が明確にされている領域でもあるので、手術の安全性を確保するためには、それぞれの専門領域での技術認定を実施することが妥当と考えられる。技術認定制度委員会（委員長：山川達郎氏）は発足したばかりであり、これから具体的な検討がはじめられるところであるが、わが国の外科領域でははじめてのことなので、慎重な議論が進められることが期待される。

(出月康夫)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第6巻 第6号) 2001年12月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1部定価（本体2,700円＋税）（配送料85円）となります。

2001年 年ごめ予約購読料：16,500円（配送料：医学書院負担）

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：出月康夫）

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財)日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当：佐々木、高柳) <http://www.hop.ne.jp/~jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

©2001, Printed in Japan

発 売：(株)医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：田村、中田） <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。